

# 山行報告書



涸沢岳まであとちょっと

期 間：2024年2月10日（土）～2月11日（日）  
種 別：会山行  
山 域：涸沢岳西尾根～奥穂高岳  
参 加 者：柴田吉暁(L)、河本嘉照(記)

コースタイム：

1日目

10:51 新穂高温泉バス停 12:00 穂高平小屋 13:00 白出沢出合 16:00 幕場(標高2300m  
付近)

2日目

4:00 幕場 5:51 蒲田富士 8:10 涸沢岳 9:54 奥穂高岳 11:28 涸沢岳 13:01 蒲田富士  
16:22  
白出沢出合 17:03 穂高平小屋 18:09 新穂高温泉バス停

## 記録

### 初日

新穂高ロープウェイから西尾根取付き迄は単調な水平移動であった。トレースもバッチリで危険箇所は特に無し。西尾根取付きからテン場迄はうんざりする急登が続く。アイゼンは取付きから装着。一部区間、フィックスロープが張られていたが、この辺りもまあ問題なし。この日は出発が遅かったので、標高 2350m のテン場争奪戦を早々に諦め、2300m 付近で幕営。一張分のスペースであったが、快適に一夜を明かす事ができた。

### 2日目

テン場から蒲田富士迄はルートコンディションは良好であったが、蒲田富士手前に一部悪い箇所があり、実はここがルート上の核心部であった気がしている。登りは何とかなるが、クライムダウンに慣れていないパーティーはロープを出した方が良い支点あり)と感じた。蒲田富士からF沢のコルはルートファインディングに充分注要。(下山時に雪庇の踏抜き跡を確認、後日先行パーティーが滑落している事を知る。) F沢のコルから涸沢岳迄は慎重に登れば問題なし。涸沢岳から先は爆風に見舞われる技術的な難易度と言うより、この自然環境を克服する事が肝心だと感じました。絶え間ない西からの風にさらされ、顔面に軽い凍傷をおいながらも登頂を果たした。

下山ルートはピストンなので割愛させて頂くが、先程も記載した通り雪庇の踏抜き跡を確認。未だ捜索中との事で、早く発見される事を祈るばかりである。



頂上証拠写真



ピッケル&ストックを試す